

様式第1号(第5条第1項関係)



鳥羽市議会議長

河村 孝 様

住 所 鳥羽市答志町868番地
議員名 濱口 正久

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

鳥羽市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項に基づき、次のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入 政務活動費 156,000円

2 支 出

(単位:円)

科目	金 額	備 考
調査研究費	92,060	スマートアイランドEXPO・アイランダー・島づくりサミット・渋谷QWS・芝の家・WISE living Lab
研修費	0	
広報費	0	
広聴費	0	
要請・陳情活動費	63,940	国土交通省(離島振興・海事局)
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
人件費	0	
事務費	0	
合計	156,000	

3 残 額 0円

支 出 伝 票

使 途 項 目	要請・陳情活動費
支 出 金 額	46,120 円
支出年月日	令和7年7月8日～9日
使 途 内 容	要請・陳情活動（東京都内）
領収書・その他証拠書類	
陳情先、陳情内容等は 様式4 実施報告書を添付	
☒ 要望・陳情活動費 46,120円 うち政務活動費 46,120円 自己負担 0円	
支 出 先	公共交通機関、宿泊施設
按 分 率 等	
備 考 欄	

研 修 視 察 旅 費 伝 票

報 告 者	濱口正久						
視 察 者 氏 名	濱 口 正 久 ・ 山 本 欽 久						
視 察 先	日 本 離 島 セ ン タ ー ・ 国 土 交 通 省						
視 察 日	令 和 7 年 7 月 8 日 ～ 7 年 7 月 9 日						
概 算 額		精 算 額		差 引 額			
46,120 円		46,120 円		0 円			
発 着	路 程	路 線	運 賃	特別急行 料金	日 当	宿泊料	
鳥羽 ～ 名古屋	120.3 km	近鉄 (往復)	4,140 円	2,680 円	2,000 円 × 2 日	12,000 円 × 1 夜	
名古屋 ～ 有楽町	366.8 km	JR (往路)	6,380 円	円			
名古屋 ～ 東京	366 km	JR (のぞみ) 往路・閑散期	円	4,720 円			
東京 ～ 名古屋	366 km	JR 復路・閑散期	6,380 円	4,720 円			
～	km		円	円			
～	km		円	円			
～	km		円	円			
概 算 額				16,900	12,120	4,000	12,000
精 算 額				16,900	12,120	4,000	12,000
旅 費 合 計		46,120 円					

(鳥羽発着 1,100 円)

実 施 報 告 書

令和 8 年 4 月 9 日

鳥羽市議会議長 様

氏 名 濱口正久

下記のとおり、実施したので報告します。

行 事 名	日本離島センターへの要望活動
日 時	令和 7 年 7 月 8 日（火） 16 時 00 分～17 時 00 分
場 所	日本離島センター
参加議員名	山本欽久、濱口正久
陳情等訪問先 または 参加者数	日本離島センター
	2 人
内 容 （目 的）	地元鳥羽市に関係する衆議院議員の 2 人に、国土交通省への要望活動の後押しをお願いの挨拶に伺った。離島振興と船員不足による定期船の運行状況の情報共有。国土交通省へは黒田大臣官房長、浪越離島振興課長、駒田前離島振興課長に挨拶引き続き、離島活性化交付金の要望と新たな関係人口への二地域居住への取り組みの状況報告をさせていただきました。海事局へは船員不足の状況や、船員確保に向けての取り組みの後押しをお願いしました。
備 考	

様式4

実 施 報 告 書

令和8年 4月 9日

鳥羽市議会議長 様

氏 名 濱口正久

下記のとおり、実施したので報告します。

行 事 名	国会議員及び国土交通省への陳情
日 時	令和7年7月9日（水）10時00分～14時15分
場 所	衆議院議員会館及び国土交通省
参加議員名	河村孝、山本欽久、濱口正久
陳情等訪問先 または 参加者数	鈴木英敬 衆議院議員、 中川康洋 衆議院議員
	6 人
内 容 (目 的)	地元鳥羽市に関係する衆議院議員の2人に、国土交通省への要望活動の後押しをお願いの挨拶に伺った。離島振興と船員不足による定期船の運行状況の情報共有。国土交通省へは黒田大臣官房長、浪越離島振興課長、駒田前離島振興課長に挨拶。引き続き、離島活性化交付金の要望と新たな関係人口への二地域居住への取り組みの状況報告をさせていただきました。海事局へは船員不足の状況や、船員確保に向けての取り組みの後押しをお願いしました。
備 考	

支 出 伝 票

使途項目	調査研究費
支 出 金 額	29,260 円
支出年月日	令和7年10月9日
使 途 内 容	調査研究視察（東京都内）
領収書・その他証拠書類	
視察先、視察内容は 様式3視察研修報告書を添付	
☒ 視察、調査研究費 29,260円 うち政務活動費 29,260円 自己負担 0円	
支 出 先	公共交通機関、宿泊施設
按 分 率 等	
備 考 欄	

支 出 伝 票

使途項目	要請・陳情活動費
支 出 金 額	17,820 円
支出年月日	令和7年10月10日
使 途 内 容	陳情活動（東京都内）
領収書・その他証拠書類	
陳情先、陳情内容等は 様式4 実施報告書を添付	
☒ 陳情活動費 17,820円 うち政務活動費 17,820円 自己負担 0円	
支 出 先	公共交通機関
按 分 率 等	
備 考 欄	

研 修 視 察 旅 費 伝 票

報 告 者	濱口正久					
視 察 者 氏 名	濱 口 正 久 ・ 山 本 欽 久					
視 察 先	・スマートアイランドEXPO2025 ・未来のシマ共創会議 ・日本離島センター・国土交通省					
視 察 日	令和 7 年 10 月 9 日 ～ 7 年 10 月 10 日					
概 算 額	精 算 額		差 引 額			
47,080 円	47,080 円		0 円			
発 着	路 程	路 線	運 賃	特別急行 料金	日 当	宿泊料
鳥羽 ～ 名古屋	120.3 km	近鉄 (往復)	4,140 円	2,680 円	2,000 円 × 2 日	12,000 円 × 1 夜
名古屋 ～ 有楽町	366.8 km	JR (往路)	6,380 円	円		
名古屋 ～ 東京	366 km	JR (のぞみ) 往路・通常期	円	4,920 円		
新橋 ～ 赤坂見附	2.3 km	東京メトロ	180 円	円		
赤坂見附 ～ 東京	3.7 km	東京メトロ	180 円	円		
東京 ～ 名古屋	366 km	JR 復路・繁忙期	6,380 円	5,120 円		
	km		円	円		
概 算 額			17,260	12,720	4,000	12,000
精 算 額			17,260	12,720	4,000	12,000
旅 費 合 計		47,080 円				

(鳥羽発着 1,100 円)

視察研修報告書

令和8年4月9日

日 時	令和7年10月 9日（木）11時30分～20時30分
氏 名	濱口正久、山本欽久
視 察 名	スマートアイランドEXPO/未来のシマ共創会議
視 察 先	Tokyo Innovation Base 東京都千代田区丸の内3-8-3
説 明 者	国土交通省スマートアイランド推進事務局・離島経済新聞社
目的・内容	国土交通省が取り組む「スマートアイランド」では、離島自治体と企業などの連携により、新しい技術や知見を離島に導入するとともに、離島がもともと持っていた優れた生きる知恵を融合させることで、さまざまな課題の解決、産業の活性化などに繋げ、未来世代に残せる持続可能な離島の地域社会を実現することを目指しており、スマートアイランドEXPOでは、離島自治体をはじめ、新しい技術を有する企業や団体が一堂に会し、離島の未来をより良くしていくための兆しを生み出していこうとする取り組み。 未来のシマ共創会議では「意志ある未来の共創」として、生き残れる島の防災と関係人口共創会議やつながりの共創をテーマに講演会があった。
成果・所感	スマートアイランドEXPOでは、海岸漂着ごみを資源化する取り組みや、リモートワークの取り組みを離島で展開する企業などと今後の展開など情報交換を行った。 未来のシマ共創会議では3つのsessionがあり session1では、持続可能なつながりをいかに共創するか、内と外をつなぎ、未来を創造するイノベーティブな手法についての話があり参考になった。 session2では、「シマで守る未来の共創」をテーマにウェルビーイングや社会的処方についてのトークセッションがあり、大変勉強になった。 session3では、「海の道を維持するために」をテーマに国土交通省内航課長や九州産業大学の行平先生の話があり、全国的な船員不足や航路維持についての国の動きや取り組み事例の報告があり、鳥羽市の船員不足解消につながるヒントを得た。

様式4

実 施 報 告 書

令和8年 4月 9日

鳥羽市議会議長 様

氏 名 濱口正久

下記のとおり、実施したので報告します。

行 事 名	日本離島センター及び国土交通省への陳情
日 時	令和7年10月10日（金）10時00分～14時15分
場 所	衆議院議員会館及び国土交通省
参加議員名	山本欽久、濱口正久
陳情等訪問先 または 参加者数	日本離島センター及び国土交通省大臣官房、離島振興、海事局への陳情
	4 人
内 容 (目 的)	日本離島センターへは、ご挨拶を兼ねて、鳥羽市の現状報告と国土交通省へのアテンドのお願いをしました。二地域居住においては先進地事例の情報共有をしました。 国土交通省へは黒田大臣官房長、天野大臣官房審議官、佐々木国土政策局長、浪越離島振興課長、海事局内航課長に挨拶をかねて引き続き、離島航路維持のための要望と新たな関係人口への二地域居住への取り組みの進捗報告をさせていただきました。海事局へは再度、船員不足の状況や、船員確保に向けての取り組みの情報共有と後押しをお願いしました。
備 考	

支 出 伝 票

使途項目	調査研究費
支 出 金 額	62,800 円
支出年月日	令和7年11月21日～11月24日
使 途 内 容	視察及び調査研究（東京都内）
領収書・その他証拠書類	
視察先、視察内容は 様式3視察研修報告書を添付	
☒ 視察、調査研究費 75,460円 うち政務活動費 62,800円 自己負担 12,660円	
支 出 先	公共交通機関、宿泊施設
按 分 率 等	
備 考 欄	

研 修 視 察 旅 費 伝 票

報 告 者	濱口正久					
視 察 者 氏 名	濱 口 正 久 ・ 山 本 欽 久					
視 察 先	・ 芝の家・島づくりサミット・アイランダー2025 ・ 渋谷QWS・WISE living Lab					
視 察 日	令和 7 年 11 月 21 日 ～ 7 年 11 月 24 日					
概 算 額		精 算 額		差 引 額		
75,460 円		75,460 円		0 円		
発 着	路 程	路 線	運 賃	特別急行 料金	日 当	宿泊料
鳥羽 ～ 名古屋	120.3 km	近鉄 (往復)	4,140 円	2,680 円	2,000 円 × 4 日	12,000 円 × 3 夜
名古屋 ～ 品川	359.2 km	JR (のぞみ) 往路・繁忙期	6,380 円	5,120 円		
有楽町 ～ 池袋	9.7 km	東京メトロ	210 円	円		
池袋 ～ 渋谷	8.9 km	東京メトロ (往復)	420 円	円		
渋谷 ～ たまプラーザ	17.1 km	東急田園都市 線	290 円	円		
あざみ野 ～ 新横浜	10.9 km	横浜地下鉄	280 円	円		
新横浜 ～ 名古屋	337.2 km	JR (のぞみ) 復路・繁忙期	5,720 円	5,120 円		
概 算 額			17,440	12,920	8,000	36,000
精 算 額			17,440	12,920	8,000	36,000
旅 費 合 計		75,460 円				

(鳥羽発着 1,100 円)

視察研修報告書

令和8年4月9日

日 時	令和7年 11月 21日（金）12時00分～13時00分
氏 名	濱口正久
視 察 名	芝の家（視察）/島づくりサミット
視 察 先	「芝の家」東京都港区芝3丁目26-8 「島づくりサミット」東京都豊島区東池袋3-1 池袋サンシャインシティ文化会館
説 明 者	「芝の家」スタッフ/「島づくりサミット」片山善博 元総務大臣
目的・内容	「芝の家」は「地域をつなぐ！交流の場づくりプロジェクト」の拠点。「あたたかい人と人のつながり」とは、子どもがのびのびと遊び、お年寄りが安心して暮らせるように、まちに住み働く人たちが「芝の家」は現代社会で見失いがちな、こうしたあたたかさを育てていくため、子ども、大人、お年寄り、住民、在勤、在学者、だれでも自由に出入りができ、みなさまと共にまちを考え創ることのできる場を提供している。 「島づくりサミット」では、元総務大臣で大正大学地域構想研究所所長の片山善博氏と同大学の高橋氏による「離島公務員等による地域創生～新しい知識・スキルの習得と実践～」をテーマに講演があった。
成果・所感	「芝の家」は「地域をつなぐ！交流の場づくりプロジェクト」の拠点として、港区の下町にあり、お昼休みには其々の会社からお弁当を持ち込みLunch timeを楽しんでいた。子どもだけでなく地域の人たちの居場所になっていた。下町でも地方と同じように、人口減少、少子高齢化、商店街の閉店など課題は同じ。また、もともとの住民と新しく転居してきた方との「あらたなつながり」や「交流」も生まれ、地域活性化につながる拠点として、本市においても必要な「拠点」の必要性を感じ、12月議会において一般質問で訴えた。 「島づくりサミット」では、地方公務員の成りて不足は深刻であり、全国的、特に離島など僻地においては喫緊の課題であるが故に、「働き方改革」の必要性や「女性の働きやすい環境の整備」の重要性の話があり、参考になった。離職率の低下は必須であり、そのための職場環境改善は本市においても重要課題である。

視察研修報告書

令和8年 4月9日

日 時	令和7年 11月 22日(土) 10時00分~18時00分 23日(日) 12時00分~17時00分
氏 名	濱口正久
視 察 名	アイランダー2025
視 察 先	東京都豊島区東池袋3-1 池袋サンシャインシティ文化会館
説 明 者	出展者は全国から82の離島の方々及び9つの島外出店者
目的・内容	アイランダーとは、日本全国170以上の離島が参加する、「島と都市」「島と島」をつなぐ交流イベント。33回目を迎え、島の人・文化・食といった、島の魅力と取り組みを体験できるイベント。
成果・所感	アイランダーでは全国の離島の取り組みや、物産、文化伝統の維持など過疎化のなかでも、特にモノやヒトの移動にコストも人もかかる離島での取り組みは先進事例としては十分参考になる。また、情報交換は特に重要であり、同じ課題を共有しながら共に解決、克服に向けた話し合いがあった。

視察研修報告書

令和8年 4月 9日

日 時	令和7年 11月 23日（日）10時00分～12時00分
氏 名	濱口正久
視 察 名	渋谷QWS（Question with Sensibility）
視 察 先	東京都渋谷区渋谷2丁目24-11 渋谷スクランブルスクエア（東棟）15階
説 明 者	渋谷QWSスタッフ
目的・内容	渋谷Qwsは、会員制の共創施設。年齢や専門領域を問わない多様な人々が集まり、「問い」を起点にプロジェクトや新規事業を創出する場として、「出会う・磨く・放つ」をコンセプトに2019から活動。自治体をはじめスタートアップ、企業、研究者、クリエイター、大学生など多岐にわたる会員が所属。 鳥羽市においても必要性を感じ視察した。
成果・所感	渋谷Qwsは渋谷駅ビルの15階にある立地条件の良さもあり、全国から自治体、企業、学生など、様々な「人とアイデアとお金」が集う場所であり、新しいことが日々生まれている。 「お金がない」「人がいない」まちでも、地域課題につながると感じた。また、鳥羽市のように大学生が多く集うまちでは、このような場所が駅周辺エリアにあれば全国から企業などが集いやすいと思い、12月議会での一般質問で取り上げた。

視察研修報告書

令和8年 4月 9日

日 時	令和7年 11月 24日（月）10時00分～11時00分
氏 名	濱口正久
視 察 名	WISE Living Lab（さんかくBASE）
視 察 先	横浜市青葉区美しが丘2丁目23番1,3
説 明 者	WISE Living Lab 関係者
目的・内容	WISE Living Lab（ワイズ リビング ラボ）は、「次世代郊外まちづくり」の情報発信や活動拠点として整備された施設。 「次世代郊外まちづくり」が目指すまちの将来像「WISE City」の体現に向けた機能が導入される3つの棟の建物で構成される。 「エネルギーと暮らしのギャラリー棟」 「コミュニティと住まいのコンサル棟」 「まちづくりと住まいのギャラリー棟」
成果・所感	横浜市と東急電鉄が「次世代郊外まちづくり」協定に基づき、たまプラーザ駅北側地区をモデル地区として、産・学・公・民の連携・協働によるまちづくりに取り組んでいる。次世代型郊外まちづくりは新興住宅地における住民同士の「つながり」を重要視し、住みやすいまちづくりのためには多世代で活用できる「交流場所」の必要性を強く感じた視察であった。

令和7年7月8日～9日 陳情活動



令和7年7月8日 日本離島センターにて



令和7年7月9日 国土交通省(離島振興課にて)

10月9日スマートアイランド EXPO2025



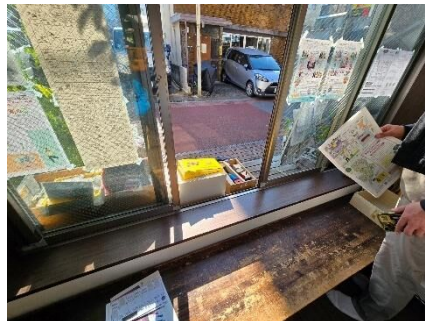
未来のシマ共創会議



10月10日国土交通省(大臣官房長、離島振興課長)



11月21日「芝の家」



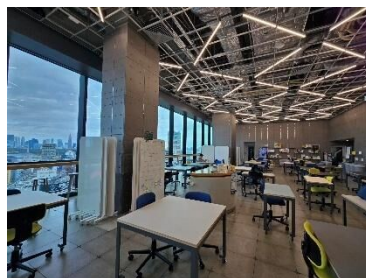
11月21日「島づくりサミット」



11月22日～23日「アイランダー2025」



11月23日「渋谷 Qws」



11月24日「WISE Living Lab」

